

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号
特表2005-507828
(P2005-507828A)

(43) 公表日 平成17年3月24日(2005.3.24)

(51) Int.Cl.⁷
B60N 3/00

F I
B60N 3/00

B

テーマコード (参考)
3B088

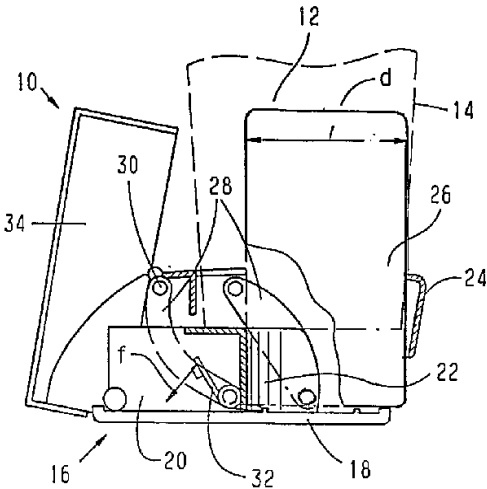
審査請求 有 予備審査請求 有 (全 21 頁)

(21) 出願番号	特願2003-542028 (P2003-542028)	(71) 出願人	502279962
(86) (22) 出願日	平成14年8月10日 (2002.8.10)		フィッシャー オートモーティヴ システ
(85) 翻訳文提出日	平成16年3月2日 (2004.3.2)		ムズ ゲゼルシャフト ミット ベシュレ
(86) 国際出願番号	PCT/EP2002/008980		ンクテル ハフツング
(87) 国際公開番号	W02003/039968		ドイツ連邦共和国 ホルプ インドウスト
(87) 国際公開日	平成15年5月15日 (2003.5.15)		リーシュラーセ 103
(31) 優先権主張番号	101 43 635.1	(74) 代理人	100061815
(32) 優先日	平成13年9月6日 (2001.9.6)		弁理士 矢野 敏雄
(33) 優先権主張国	ドイツ (DE)	(74) 代理人	100094798
(81) 指定国	EP (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR), BR, CN, I N, JP, KR, PL, SG, US		弁理士 山崎 利臣
		(74) 代理人	100099483
			弁理士 久野 琢也
		(74) 代理人	100114890
			弁理士 アインゼル・フェリックス＝ライ
			ンハルト
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 飲料容器のためのホルダ

(57) 【要約】

本発明は、飲料容器（12；14）のためのホルダ（10）に関する。本発明は、挿入開口（26）を有する保持部材（24）を備えたホルダ（10）を形成し、前記保持部材（24）が、平行四辺形案内部（28）によって側部の支持部（22）で案内されるようにすることを提案する。これにより、内径（d）が、挿入された飲料容器（12；14）の直径に適合する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

飲料容器のためのホルダであって、ベース部材が設けられており、該ベース部材に、ホルダに挿入したい飲料容器が載置可能になっており、かつ保持部材が設けられており、該保持部材が、ホルダに挿入された飲料容器を周面箇所で支持するようになっており、形式のものにおいて、ベース部材（16）が、支持部（22）を有しており、該支持部（22）が、ホルダ（10）に挿入された飲料容器（12；14）に関連して、保持部材（24）に向かい合って配置されており、ホルダ（10）が、案内部（28）を有しており、該案内部（28）によって、保持部材（24）が、ベース部材（16）と支持部（22）とに関連して可動に案内されており、これにより、保持部材（24）と支持部（22）との間の内径（d）が変更可能になっていることを特徴とする、飲料容器のためのホルダ。 10

【請求項 2】

保持部材（24）が、飲料容器（12；14）のための挿入開口（26）を有しており、保持部材（24）が、次のように案内されている、すなわち、該保持部材（24）の1つの位置では、支持部（22）が挿入開口（26）の内部に位置し、保持部材（24）の別の位置では、挿入開口（26）が、支持部（22）とほぼ一直線に並んでいる、請求項1記載のホルダ。

【請求項 3】

案内部（28）が、平行四辺形案内部として形成されている、請求項1記載のホルダ。

【請求項 4】

ホルダ（10）が、ばねエレメント（32）を有しており、該ばねエレメント（32）が、保持部材（24）を、該保持部材（24）と支持部（22）との間の内径（d）の収縮を考慮して負荷するようになっており、請求項1記載のホルダ。 20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、請求項1の上位概念部に記載の特徴を備えた、飲料容器のためのホルダに関する。

【0002】

このホルダは、自動車又はその他の移動手段に取り付けるためのものである。飲料容器とは、飲料缶、グラス、カップなどである。 30

【0003】

このようなホルダは、種々異なる多数の実施形式でそれ自体公知になっている。これらのホルダは、一般にベース部材又はその他の載置面又は底支持部をも有しており、これらの部材に、ホルダに挿入したい飲料容器が載置可能になっており、さらに保持部材を有しており、この保持部材は、ホルダに挿入された飲料容器を周面で側部方向に支持する。

【0004】

そこで本発明の課題は、簡単な直径適合を可能にする、飲料容器のためのホルダを提供することである。

【0005】

本発明によれば、この課題は請求項1の特徴部により解決される。本発明によるホルダのベース部材は、支持部を有しており、この支持部は、ホルダに挿入された飲料容器を、保持部材に対して周面で支持する。ホルダに挿入された飲料容器は、周面で支持部と保持部材とによって傾倒に抗して保持される。さらに、本発明によるホルダは案内部を有しており、この案内部によって、保持部材はベース部材で可動に案内されており、これにより、保持部材と支持部との間の中間室（内径）の大きさが変更可能になっている。これにより、簡単な形式で、挿入したい飲料容器の直径にホルダを適合させることが可能である。本発明は、広範な直径適合を可能にする。 40

【0006】

基本的には、保持部材は、ホルダに挿入された飲料容器を、支持部に向かい合う周面箇所 50

又は周面区分で支持すれば十分である。本発明の1構成では、保持部材には挿入開口が形成されており、この挿入開口は、挿入された飲料容器を部分的又は全体的に把持する。案内部によって、保持部材はベース部材で可動に案内されており、これにより、保持部材の1つの位置では、上方から見て、支持部は挿入開口の内部に位置しており、保持部材の別の位置では、挿入開口が支持部とほぼ一直線に並んでいる。後者は、挿入開口の周面区分が、上から見ると支持部とほぼ一致していることを意味する。本発明のこの構成では、保持部材の運動により、支持部と挿入開口との間の内径を変更することができるようになっており、これにより、ホルダは挿入したい飲料容器の直径に適合する。

【0007】

ベース部材における保持部材の案内としては、例えば摺動案内が用いられる。本発明の1構成では、保持部材とベース部材との間に平行四辺形案内内部が設けられる。この平行四辺形案内内部は構成が単純であり、かつ機能安定的である。

【0008】

本発明の1構成では、ばねエレメントが設けられており、このばねエレメントは、保持部材を、この保持部材と支持部との間のより小さくなる中間室を考慮して負荷する。ばねエレメントは、挿入された飲料容器の直径に、本発明によるホルダを自動的に適合させることを可能にする。大きい直径を備えた飲料容器を挿入するためには、保持部材は、この保持部材と支持部との間の中間室が飲料容器を挿入するために十分となるまで、飲料容器によってばねエレメントの力に抗して運動せしめられる。飲料容器はホルダに挿入され、ばねエレメントは、保持部材を介して、挿入された飲料容器を支持部に対して押圧し、これにより、飲料容器は傾倒に抗して保持されている。本発明のこのような構成は、片手操作の利点を有している。直径適合は、片手で把持された飲料容器によって行われる。

【0009】

次に図示の実施例につき本発明を詳しく説明する。両図面は、本発明によるホルダの種々異なる位置を示す横断面図である。図面は概略的に簡易化して示されている。

【0010】

図1に示した本発明によるホルダ10は、自動車に取り付けるためのものである。このホルダ10は、飲料容器、例えば缶12又はグラス14を挿入するために設けられている。ホルダ10はベースプレート18を備えたベース部材16を有しており、このベースプレート18は、飲料容器12, 14のための載置面を形成している。ベースプレート18からは、角材状の部材20が上方向に突出しており、この部材20は、平面図で見てベースプレート18のほぼ半分を占めている。前記角材状の部材20の、側部に突出したベースプレート18範囲に向けられた側面は、凹面状に成形されており、支持部22を形成している。この支持部22は、ホルダ10に挿入された飲料容器12, 14を周面側部で支持する。

【0011】

ベース部材16の上方に、ホルダ10は保持部材24を有している。この保持部材24は、上方から見ると、円形の開口を備えた長方形のフレームの形状を有しており、この開口は、飲料のための挿入開口12, 14を形成している。保持部材24は、全部で4つの旋回レバー28によって、ベース部材16で可動に案内されている。角材状の部材20のそれぞれの側部には、2つの旋回レバー28が配置されており、これらの旋回レバー28は、旋回ピン結合部30を介して、ベース部材16と保持部材24とに結合されている。旋回レバー28は平行四辺形案内内部を形成しており、この平行四辺形案内によって、保持部材24はベース部材16で可動に案内されている。旋回レバー28による平行四辺形案内により、保持部材24は、図1及び図2に示した両位置の間を往復運動することができる。図1に示した位置では、上方から見ると、支持部22は保持部材24の挿入開口26の内部に位置しており、これにより、内径dを収縮させる。内径dは、上方からホルダ10を見ると、支持部22と、挿入開口26の向かい合う周面区分との間の間隔又は中間室である。図2では、支持部22は挿入開口26とほぼ一直線に並んでおり、支持部22と、挿入開口26の向かい合う周面区分との間の内径dは、図1の場合よりも大きくなってお

り、挿入開口 26 の直径に対応している。ホルダ 10 は、これにより、種々異なる直径を備えた飲料容器 12, 14 に適合することができる。

【0012】

旋回レバー 28 の 1 つには、旋回ばね 32 が係合する。この旋回ばね 32 は支持プレート 18 で支持されている。脚ばね 32 はばねエレメントを形成しており、このばねエレメントは、旋回レバー 28 を介して、保持部材 24 を、より小さくなる内径 d を考慮して負荷する。

【0013】

ベース部材 16 の側部には、フラップカバー 34 が取り付けられており、このフラップカバー 34 によって、ホルダ 10 は不使用時にカバー可能になっている。

10

【0014】

小さい飲料容器、例えば図 1 に示した飲料缶 12 を保持するためには、この飲料容器 12 は、フラップカバー 34 の開放時に上方から保持部材 24 の挿入開口 26 及びベースプレート 18 に載置される。飲料缶 12 は、支持部 22 と、挿入開口 26 の向かい合う周面区分とによって、周面側部で傾倒に抗して支持される。

【0015】

直径のより大きい飲料容器、例えば図 2 に示した飲料グラス 14 は、ホルダ 10 に挿入するために、図 1 に破線で示したように、保持部材 24 の挿入開口 26 に沈降せしめられる。グラス 14 を側方へ（図面を見て右側へ）運動させることにより、挿入開口 26 に挿入されたグラス 14 によって、保持部材 24 は、グラス 14 が完全に角材状の部材 20 の隣に位置するようになるまで、脚ばね 32 の力に抗して側方へ運動せしめられる。前記部材 20 の凹状の側面は支持部 22 を形成している。次いでグラス 14 は載置面を形成するベースプレート 18 に載置されるまで、さらに沈降せしめられる。この位置は図 2 に示されている。脚ばね 32 は、保持部材 24 の、支持部 22 に向かい合う挿入開口 26 周面範囲を、側部からグラス 14 に対して押圧し、かつグラス 14 を支持部 22 に対して押圧する。挿入されたグラス 14 は、脚ばね 32 による保持部材 24 のさらなる摺動を阻止する。ホルダ 10 は、これにより、挿入された飲料容器 14 の直径に自動的に適合する。より大きい直径を備えた飲料容器、例えばグラス 14 の挿入時にも、上に述べたように、飲料容器が保持されるだけでよく、このためには片手で十分である。第 2 の手は必要ない。

20

【図面の簡単な説明】

30

【0016】

【図 1】本発明による、自動車に取り付けるためのホルダの横断面図である。

【0017】

【図 2】本発明による、自動車に取り付けるためのホルダの横断面図である。

【国際公開パンフレット】

(12) NACH DEM VERTRAG ÜBER DIE INTERNATIONALE ZUSAMMENARBEIT AUF DEM GEBIET DES
PATENTWESENS (PCT) VERÖFFENTLICHTE INTERNATIONALE ANMELDUNG

(19) Weltorganisation für geistiges Eigentum
Internationales Büro



(10) Internationale Veröffentlichungsnummer

WO 03/039968 A2

PCT

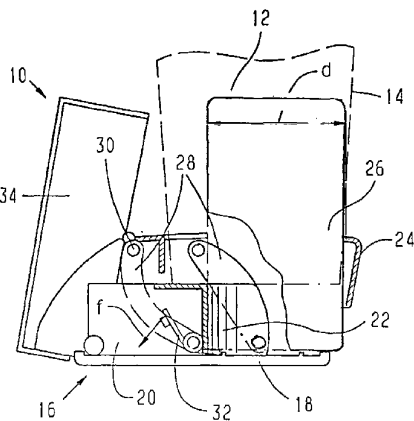
(43) Internationales Veröffentlichungsdatum
15. Mai 2003 (15.05.2003)

- (51) Internationale Patentklassifikation: **B65D** (72) Erfinder; und
(75) Erfinder/Anmelder (nur für US): SCHAAL, Falk
(21) Internationales Aktenzeichen: PCT/EP02/08980 (DE/DE); Oberer Salzberg 7, 72275 Alpirsbach (DE).
(22) Internationales Anmeldedatum: 10. August 2002 (10.08.2002) (81) Bestimmungsstaaten (national): BR, CN, IN, JP, KR, PL, SG, US.
(25) Einreichungssprache: Deutsch (84) Bestimmungsstaaten (regional): europäisches Patent (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR).
(26) Veröffentlichungssprache: Deutsch
Erklärungen gemäß Regel 4.17:
(30) Angaben zur Priorität: 101 43 635.1 6. September 2001 (06.09.2001) DE hinsichtlich der Berechtigung des Anmelders, ein Patent zu beantragen und zu erhalten (Regel 4.17 Ziffer ii) für alle Bestimmungsstaaten
— hinsichtlich der Berechtigung des Anmelders, die Priorität einer früheren Anmeldung zu beanspruchen (Regel 4.17 Ziffer iii) für alle Bestimmungsstaaten
(71) Anmelder (für alle Bestimmungsstaaten mit Ausnahme von US): FISCHER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH [DE/DE]; Industriestrasse 103, 72160 Horb (DE). — Erfindererklärung (Regel 4.17 Ziffer iv) nur für US

[Fortsetzung auf der nächsten Seite]

(54) Title: HOLDER FOR A BEVERAGE CONTAINER

(54) Bezeichnung: HALTER FÜR EIN GETRÄNKGEFÄß



(57) Abstract: The invention relates to a holder (10) for a beverage container (12; 14). According to the invention, the holder (10) is to be provided with a holding part (24), which comprises an insertion opening (26) and which is guided with a parallelogram guide (28) on a base (16) having a lateral support (22). This enables an inner width (d) to adapt to a diameter of the inserted beverage container (12; 14).

(57) Zusammenfassung: Die Erfindung betrifft einen Halter (10) für ein Getränkegefäß (12; 14). Die Erfindung schlägt vor, den Halter (10) mit einem eine Einschießöffnung (26) aufweisenden Halteglied (24) auszubilden, das mit einer Parallelogrammführung (28) an einem eine seitliche Stütze (22) aufweisenden Grundteil (16) geführt ist. Dadurch lässt sich eine lichte Weite (d) an einen Durchmesser des eingestellten Getränkegefäßes (12; 14) anpassen.

WO 03/039968 A2

WO 03/039968 A2 **Veröffentlicht:**

— ohne internationalen Recherchenbericht und erneut zu
veröffentlichen nach Erhalt des Berichts

*Zur Erklärung der Zweibuchstaben-Codes und der anderen
Abkürzungen wird auf die Erklärungen ("Guidance Notes on
Codes and Abbreviations") am Anfang jeder regulären Ausgabe
der PCT-Gazette verwiesen.*

WO 03/039968

1

PCT/EP02/08980

5

Beschreibung**Halter für ein Getränkegefäß**

10 Die Erfindung betrifft einen Halter für ein Getränkegefäß mit den Merkmalen des Oberbegriffs des Anspruchs 1.

Der Halter ist zum Einbau in einen Kraftwagen oder ein sonstiges Fortbewegungsmittel vorgesehen. Mit Getränkegefäß ist eine Getränkedose, ein Becher, eine Tasse oder dgl.
15 gemeint.

Derartige Halter sind in einer Vielzahl unterschiedlicher Ausführungsformen an sich bekannt. Sie weisen üblicherweise ein Grundteil oder auch eine sonstige Stellfläche oder Bodenstütze auf, auf die ein in den Halter einzustellendes Getränkegefäß stellbar ist,
20 und ein Halteteil, welches ein in den Halter eingestelltes Getränkegefäß am Umfang in seitlicher Richtung abstützt.

Der Erfindung liegt die Aufgabe zugrunde, einen Halter für ein Getränkegefäß vorzuschlagen, der eine einfache Durchmesseranpassung ermöglicht.

25

Diese Aufgabe wird erfindungsgemäß durch die Merkmale des Anspruchs 1 gelöst. Das Grundteil des erfindungsgemäßen Halters weist eine Stütze auf, die ein in den Halter eingestelltes Getränkegefäß dem Halteteil gegenüber am Umfang abstützt. Ein in den Halter eingestelltes Getränkegefäß wird am Umfang von der Stütze und dem Halteteil
30 gegen Kippen gehalten. Außerdem weist der erfindungsgemäße Halter eine Führung auf, mit der das Halteteil am Grundteil beweglich so geführt ist, dass eine Größe eines Zwischenraums (lichte Weite) zwischen dem Halteteil und der Stütze veränderbar ist. Dadurch ist in einfacher Weise eine Anpassung des Halters an einen Durchmesser eines einzustellenden Getränkegefäßes anpassbar. Die Erfindung ermöglicht eine große
35 Durchmesseranpassung.

WO 03/039968

2

PCT/EP02/08980

Grundsätzlich reicht es aus, dass das Halteteil ein in den Halter eingestelltes Getränkegefäß an einer der Stütze gegenüberliegenden Umfangstelle oder Umfangsabschnitt abstützt. Eine Ausgestaltung der Erfindung sieht vor, das Halteteil mit einer Einstellöffnung auszubilden, die ein eingestelltes Getränkegefäß teilweise oder vollständig umfasst. Mit der Führung ist das Halteteil beweglich so am Grundteil geführt, dass sich in einer Stellung des Halteteils die Stütze von oben gesehen innerhalb der Einstellöffnung befindet und dass in einer anderen Stellung des Halteteils die Einstellöffnung in etwa mit der Stütze fluchtet. Letzteres bedeutet, dass ein Umfangsabschnitt der Einstellöffnung von oben gesehen in etwa deckungsgleich mit der Stütze ist. Durch Bewegung des Halteteils lässt sich bei dieser Aufgestaltung der Erfindung eine lichte Weite zwischen der Stütze und der Einstellöffnung verändern und der Halter dadurch an den Durchmesser eines einzustellenden Getränkegefäßes anpassen.

Als Führung des Halteteils am Grundteil kommen bspw. Schiebeführungen in Betracht. Eine Ausgestaltung der Erfindung sieht eine Parallelogrammführung zwischen dem Halteteil und dem Grundteil vor. Die Parallelogrammführung ist einfach in ihrer Konstruktion und funktionssicher.

Eine Ausgestaltung der Erfindung sieht ein Federelement vor, das das Halteteil im Sinne eines kleiner werdenden Zwischenraums zwischen dem Halteteil und der Stütze beaufschlagt. Das Federelement ermöglicht eine selbsttätige Anpassung des erfindungsgemäßen Halters an den Durchmesser eines eingestellten Getränkegefäßes. Zum Einstellen eines Getränkegefäßes mit großem Durchmesser wird das Halteteil mit dem Getränkegefäß gegen die Kraft des Federelementes so weit bewegt, dass der Zwischenraum zwischen dem Halteteil und der Stütze zum Einstellen des Getränkegefäßes reicht. Das Getränkegefäß wird in den Halter eingestellt und das Federelement drückt über das Halteteil das eingestellte Getränkegefäß gegen die Stütze, so dass das Getränkegefäß gegen Kippen gehalten ist. Diese Ausgestaltung der Erfindung hat den Vorteil einer Einhandbedienung. Die Durchmesseranpassung erfolgt mittels des mit einer Hand gegriffenen Getränkegefäßes.

Die Erfindung wird nachfolgend anhand eines in der Zeichnung dargestellten Ausführungsbeispiels näher erläutert. Die beiden Figuren zeigen einen erfindungsgemäßen

WO 03/039968

3

PCT/EP02/08980

Halter in zwei unterschiedlichen Stellungen geschnitten an einer Mittelebene. Die Zeichnung ist als schematisierte und vereinfachte Darstellung zu verstehen.

5 Der in Figur 1 dargestellte, erfindungsgemäße Halter 10 ist zum Einbau in einen Kraftwagen vorgesehen. Er ist zum Einstellen eines Getränkegefäßes wie bspw. einer Dose 12 oder einem Becher 14 vorgesehen. Der Halter 10 weist ein Grundteil 16 mit einer Grundplatte 18 auf, die eine Stellfläche für das Getränkegefäß 12, 14 bildet. Von der Grundplatte 18 steht ein klotzförmiges Teil 20 nach oben, das in Draufsicht etwa eine Hälfte der Grundplatte 18 einnimmt. Eine einem seitlich überstehenden Bereich der Grundplatte 18 zugewandte Seitenfläche des klotzförmigen Teils 20 ist konkav geformt und bildet eine Stütze 22, die ein in den Halter 10 eingestelltes Getränkegefäß 12, 14 am Umfang seitlich abstützt.

15 Oberhalb des Grundteils 16 weist der Halter 10 ein Halteteil 24 auf. Das Halteteil 24 hat die Form eines von oben gesehen rechteckigen Rahmens mit einem kreisrunden Durchbruch, der eine Einstellöffnung 26 für das Getränkegefäß 12, 14 bildet. Das Halteteil 24 ist mit insgesamt vier Schwenkhebeln 28 beweglich am Grundteil 16 geführt. Auf jeder Seite des klotzförmigen Teils 20 sind zwei Schwenkhebel 28 angeordnet, die über Schwenkzapfenverbindungen 30 schwenkbar mit dem Grundteil 16 und dem Halteteil 24 verbunden sind. Die Schwenkhebel 28 bilden eine Parallelogrammführung, mit der das Halteteil 24 am Grundteil 16 beweglich geführt ist. Durch die Parallelogrammführung mit den Schwenkhebeln 28 lässt sich das Halteteil 24 zwischen den beiden in Figuren 1 und 2 dargestellten Stellungen hin- und herbewegen. In der in Figur 1 dargestellten Stellung befindet sich von oben gesehen die Stütze 22 innerhalb der Einstellöffnung 26 des Halteteils 24 und verkleinert dadurch deren lichte Weite d. Die lichte Weite d ist ein Abstand oder Zwischenraum zwischen der Stütze 22 und einem gegenüberliegenden Umfangsabschnitt der Einstellöffnung 26 von oben auf den Halter 10 gesehen. In Figur 2 fluchtet die Stütze 22 in etwa mit der Einstellöffnung 26, die lichte Weite d zwischen der Stütze 22 und dem gegenüberliegenden Umfangsabschnitt der Einstellöffnung 26 ist größer als in Figur 1 und entspricht einem Durchmesser der Einstellöffnung 26. Der Halter 10 lässt sich dadurch an Getränkegefäße 12, 14 mit unterschiedlichem Durchmesser anpassen.

35 An einem der Schwenkhebel 28 greift eine Schenkelfeder 32 an, die sich an der Grundplatte 18 abstützt. Die Schenkelfeder 32 bildet ein Federelement, das über den

WO 03/039968

PCT/EP02/08980

4

Schwenkhebel 28 das Halteteil 24 im Sinne einer kleiner werdenden lichten Weite d beaufschlagt.

Auf einer Seite des Grundteils 16 ist ein Klappdeckel 34 angebracht, mit dem der Halter 10 bei Nichtgebrauch abdeckbar ist.

Zum Halten eines kleinen Getränkegefäßes wie bspw. der in Figur 1 dargestellten Getränkedose 12 wird diese bei geöffnetem Klappdeckel 34 von oben in die Einstellöffnung 26 des Halteteils 24 und auf die Grundplatte 18 gestellt. Die Getränkedose 12 wird von der Stütze 22 und dem gegenüberliegenden Umfangsabschnitt der Einstellöffnung 26 am Umfang seitlich gegen Kippen abgestützt.

Ein im Durchmesser größeres Getränkegefäß wie bspw. der in Figur 2 dargestellte Getränkebecher 14 wird zum Einstellen in den Halter 10 wie in Figur 1 mit Strichlinien angedeutet in die Einstellöffnung 26 des Halteteils 24 abgesenkt. Durch eine Bewegung des Bechers 14 zur Seite (in der Zeichnung nach rechts) wird mit dem in die Einstellöffnung 26 eingreifenden Becher 14 das Halteteil 24 gegen die Kraft der Schenkelfeder 32 zur Seite bewegt, bis sich der Becher 14 vollständig neben dem klotzförmigen Teil 20 befindet, dessen konkave Seitenfläche die Stütze 22 bildet. Anschließend wird der Becher 14 weiter abgesenkt, bis er auf der die Stellfläche bildenden Grundplatte 18 aufsteht. Diese Stellung ist in Figur 2 dargestellt. Die Schenkelfeder 32 drückt das Halteteil 24 mit dem der Stütze 22 gegenüberliegenden Umfangsbereich der Einstellöffnung 26 von einer Seite gegen den Becher 14 und den Becher 14 gegen die Stütze 22. Der eingestellte Becher 14 verhindert ein weiteres Verschieben des Halteteils 24 durch die Schenkelfeder 32. Der Halter 10 passt sich dadurch selbsttätig an den Durchmesser eines eingestellten Getränkegefäßes 14 an. Auch beim Einstellen eines Getränkegefäßes mit größerem Durchmesser wie dem Becher 14 muss, wie vorstehend erläutert, nur das Getränkegefäß gehalten werden, wozu eine Hand ausreicht. Eine zweite Hand ist nicht erforderlich.

5

Patentansprüche

10

15

20

25

1. Halter für einen Getränkegefäß, mit einem Grundteil, auf das ein in den Halter einzustellendes Getränkegefäß stellbar ist, und mit einem Halteteil, das ein in den Halter eingestelltes Getränkegefäß an einer Umfangsstelle abstützt, **dadurch gekennzeichnet**, dass das Grundteil (16) eine Stütze (22) aufweist, die bezüglich eines in den Halter (10) eingestellten Getränkegefäßes (12; 14) dem Halteteil (24) gegenüber angeordnet ist, und dass der Halter (10) eine Führung (28) aufweist, mit der das Halteteil (24) in Bezug auf das Grundteil (16) und die Stütze (22) beweglich geführt ist, so dass eine lichte Weite (d) zwischen dem Halteteil (24) und der Stütze (22) veränderbar ist.
2. Halter nach Anspruch 1, **dadurch gekennzeichnet**, dass das Halteteil (24) eine Einstellöffnung (26) für das Getränkegefäß (12; 14) aufweist, und dass das Halteteil (24) so geführt ist, dass sich in einer Stellung des Halteteils (24) die Stütze (22) innerhalb der Einstellöffnung (26) befindet, und dass in einer anderen Stellung des Halteteils (24) die Einstellöffnung (26) in etwa mit der Stütze (22) fluchtet.
3. Halter nach Anspruch 1, **dadurch gekennzeichnet**, dass die Führung (28) eine Parallelogrammführung ist.
4. Halter nach Anspruch 1, **dadurch gekennzeichnet**, dass der Halter (10) ein Federelement (32) aufweist, das das Halteteil (24) im Sinne einer Verkleinerung der lichten Weite (d) zwischen dem Halteteil (24) und der Stütze (22) beaufschlagt.

WO 03/039968

1/1.

PCT/EP02/08980

Fig.1

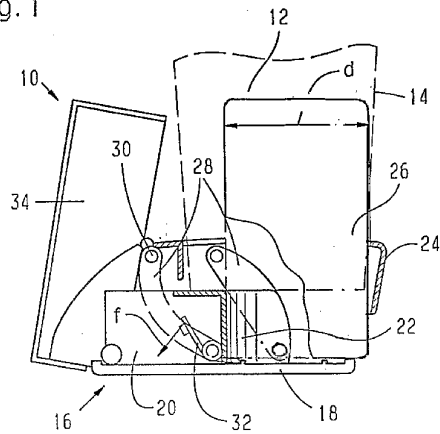
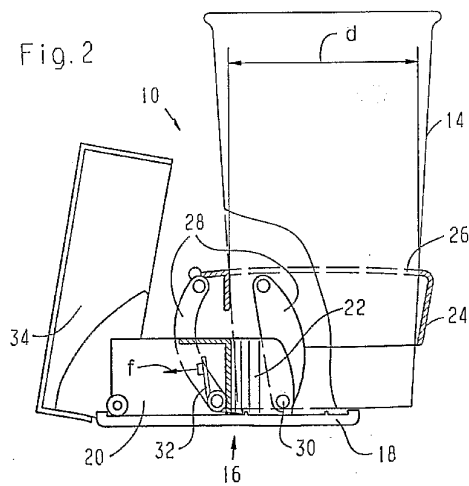


Fig.2



【国際公開パンフレット（コレクトバージョン）】

(12) NACH DEM VERTRAG ÜBER DIE INTERNATIONALE ZUSAMMENARBEIT AUF DEM GEBIET DES
PATENTWESENS (PCT) VERÖFFENTLICHTE INTERNATIONALE ANMELDUNG

(19) Weltorganisation für geistiges Eigentum
Internationales Büro



(43) Internationales Veröffentlichungsdatum
15. Mai 2003 (15.05.2003)

PCT

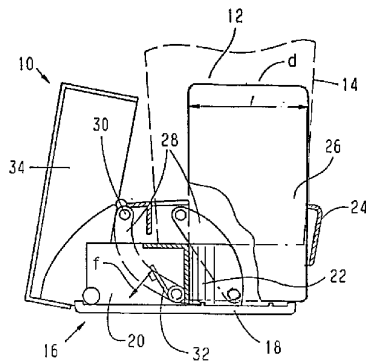
(10) Internationale Veröffentlichungsnummer
WO 03/039968 A3

- (51) Internationale Patentklassifikation: **B60N 3/10** (72) Erfinder; und
(75) Erfinder/Anmelder (nur für US): **SCHAAL, Falk**
(21) Internationales Aktenzeichen: PCT/EP02/08980 [DE/DE], Oberer Sulzberg 7, 72275 Alpirsbach (DE).
(22) Internationales Anmeldedatum: 10. August 2002 (10.08.2002) (81) Bestimmungsstaaten (national): BR, CN, IN, JP, KR, PL, SG, US.
(25) Einreichungssprache: Deutsch (84) Bestimmungsstaaten (regional): europäisches Patent (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, SK, TR).
(26) Veröffentlichungssprache: Deutsch
(30) Angaben zur Priorität: 101 43 635.1 6. September 2001 (06.09.2001) DE —
(71) Anmelder (für alle Bestimmungsstaaten mit Ausnahme von US): **FISCHER AUTOMOTIVE SYSTEMS GMBH** [DE/DE], Industriestrasse 103, 72160 Horb (DE). Erklärungen gemäß Regel 4.17:
— hinsichtlich der Berechtigung des Anmelders, ein Patent zu beantragen und zu erhalten (Regel 4.17 Ziffer ii) für alle Bestimmungsstaaten
hinsichtlich der Berechtigung des Anmelders, die Priorität einer früheren Anmeldung zu beanspruchen (Regel 4.17 Ziffer iii) für alle Bestimmungsstaaten

[Fortsetzung auf der nächsten Seite]

(54) Title: **HOLDER FOR A BEVERAGE CONTAINER**

(54) Bezeichnung: **HALTER FÜR EIN GETRÄNKEGEFÄß**



(57) Abstract: The invention relates to a holder (10) for a beverage container (12; 14). According to the invention, the holder (10) is to be provided with a holding part (24), which comprises an insertion opening (26) and which is guided with a parallelogram guide (28) on a base (16) having a lateral support (22). This enables an inner width (d) to adapt to a diameter of the inserted beverage container (12; 14).

[Fortsetzung auf der nächsten Seite]



WO 03/039968 A3

WO 03/039968 A3

*Erfindererklärung (Regel 4.17 Ziffer iv) nur für US***Veröffentlicht:**

— mit internationalem Recherchenbericht

*Zur Erklärung der Zweibuchstaben-Codes und der anderen Abkürzungen wird auf die Erklärungen ("Guidance Notes on Codes and Abbreviations") am Anfang jeder regulären Ausgabe der PCT-Gazette verwiesen.***(88) Veröffentlichungsdatum des internationalen****Recherchenberichts:**

20. November 2003

(57) Zusammenfassung: Die Erfindung betrifft einen Halter (10) für ein Getränkegefäß (12; 14). Die Erfindung schlägt vor, den Halter (10) mit einem eine Einstellöffnung (26) aufweisenden Halteteil (24) auszubilden, das mit einer Parallelogrammführung (28) an einem eine seitliche Stütze (22) aufweisenden Grundteil (16) geführt ist. Dadurch lässt sich eine lichte Weite (d) an einen Durchmesser des eingestellten Getränkegefäßes (12; 14) anpassen.

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT		International Application No PCT/EP 02/08980												
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER IPC 7 B60N3/10 According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC														
B. FIELDS SEARCHED Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) IPC 7 B60N Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used) WPI Data, PAJ, EPO-Internal														
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT <table border="1"> <thead> <tr> <th>Category *</th> <th>Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages</th> <th>Relevant to claim No.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X</td> <td>DE 197 27 925 A (HYMER LEICHTMETALLBAU GMBH & CO. KG) 7 January 1999 (1999-01-07) abstract column 3, line 36 - column 4, line 49; claims 1-7; figures 1-7</td> <td>1-4</td> </tr> <tr> <td>X</td> <td>DE 195 19 602 C (MERCEDES-BENZ AKTIENGESELLSCHAFT) 19 September 1996 (1996-09-19) abstract; claims 1,2; figures 1-3</td> <td>1,2,4</td> </tr> <tr> <td>X</td> <td>US 6 059 243 A (MITSUOHARU HIKAGE ET AL.) 9 May 2000 (2000-05-09) abstract column 4, line 16 - line 55 column 5, line 47 - column 6, line 38; figures 1,3,4,8,8A,13 -/-</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>			Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.	X	DE 197 27 925 A (HYMER LEICHTMETALLBAU GMBH & CO. KG) 7 January 1999 (1999-01-07) abstract column 3, line 36 - column 4, line 49; claims 1-7; figures 1-7	1-4	X	DE 195 19 602 C (MERCEDES-BENZ AKTIENGESELLSCHAFT) 19 September 1996 (1996-09-19) abstract; claims 1,2; figures 1-3	1,2,4	X	US 6 059 243 A (MITSUOHARU HIKAGE ET AL.) 9 May 2000 (2000-05-09) abstract column 4, line 16 - line 55 column 5, line 47 - column 6, line 38; figures 1,3,4,8,8A,13 -/-	1
Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.												
X	DE 197 27 925 A (HYMER LEICHTMETALLBAU GMBH & CO. KG) 7 January 1999 (1999-01-07) abstract column 3, line 36 - column 4, line 49; claims 1-7; figures 1-7	1-4												
X	DE 195 19 602 C (MERCEDES-BENZ AKTIENGESELLSCHAFT) 19 September 1996 (1996-09-19) abstract; claims 1,2; figures 1-3	1,2,4												
X	US 6 059 243 A (MITSUOHARU HIKAGE ET AL.) 9 May 2000 (2000-05-09) abstract column 4, line 16 - line 55 column 5, line 47 - column 6, line 38; figures 1,3,4,8,8A,13 -/-	1												
☒ Further documents are listed in the continuation of box C. ☒ Patent family members are listed in annex.														
* Special categories of cited documents: *A* document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance *E* earlier document but published on or after the international filing date *L* document which may throw doubt on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) *O* document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means *P* document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed *T* later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention *X* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone *Y* document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art *Z* document member of the same patent family														
Date of the actual completion of the international search		Date of mailing of the international search report												
12 November 2002		20/11/2002												
Name and mailing address of the ISA European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax. (+31-70) 340-3016		Authorized officer Cuny, J-M												

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No.
PCT/EP 02/08980

C.(Continuation) DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category *	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	DE 44 15 732 A (GEBR. HAPPICH GMBH) 9 November 1995 (1995-11-09) abstract; figures 1,3	1,2

1

Form PCT/ISA210 (continuation of second sheet) (July 1992)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

 International Application No
 PCT/EP 02/08980

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
DE 19727925 A	07-01-1999	DE 19727925 A1	07-01-1999
DE 19519602 C	19-09-1996	DE 19519602 C1	19-09-1996
		FR 2734768 A1	06-12-1996
		GB 2301280 A ,B	04-12-1996
		IT RM960262 A1	22-10-1997
US 6059243 A	09-05-2000	JP 10226260 A	25-08-1998
DE 4415732 A	09-11-1995	DE 4415732 A1	09-11-1995

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT		Internationales Aktenzeichen PCT/EP 02/08980
A. KLASSIFIZIERUNG DES ANMELDUNGSGEGENSTANDES IPK 7 B60N3/10		
Nach der internationalen Patentklassifikation (IPK) oder nach der nationalen Klassifikation und der IPK		
B. RECHERCHIERTE GEBIETE Recherchierter Mindestprüfstoff (Klassifikationssystem und Klassifikationssymbole) IPK 7 B60N		
Recherchierte aber nicht zum Mindestprüfstoff gehörende Veröffentlichungen, soweit diese unter die recherchierten Gebiete fallen		
Während der internationalen Recherche konsultierte elektronische Datenbank (Name der Datenbank und evtl. verwendete Suchbegriffe) WPI Data, PAJ, EPO-Internal		
C. ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN		
Kategorie	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Bez. Anspruch Nr.
X	DE 197 27 925 A (HYMER LEICHTMETALLBAU GMBH & CO. KG) 7. Januar 1999 (1999-01-07) Zusammenfassung Spalte 3, Zeile 36 - Spalte 4, Zeile 49; Ansprüche 1-7; Abbildungen 1-7	1-4
X	DE 195 19 602 C (MERCEDES-BENZ AKTIENGESELLSCHAFT) 19. September 1996 (1996-09-19) Zusammenfassung; Ansprüche 1,2; Abbildungen 1-3	1,2,4
X	US 6 059 243 A (MITSU HARU HIKAGE ET AL.) 9. Mai 2000 (2000-05-09) Zusammenfassung Spalte 4, Zeile 16 - Zeile 55 Spalte 5, Zeile 47 - Spalte 6, Zeile 38; Abbildungen 1,3,4,8,8A,13	1
-/-		
☒ Weitere Veröffentlichungen sind der Fortsetzung von Feld C zu entnehmen. ☒ Siehe Anhang Patentfamilie		
* Besondere Kategorien von angegebenen Veröffentlichungen: *X* Veröffentlichung, die den allgemeinen Stand der Technik definiert, aber nicht als besonders bedeutsam anzusehen ist *E* älteres Dokument, das jedoch erst am oder nach dem internationalen Anmeldedatum veröffentlicht worden ist *L* Veröffentlichung, die geeignet ist, einen Prioritätsanspruch zweifelhaft erscheinen zu lassen, oder durch die das Veröffentlichungsdatum einer anderen im Recherchenbericht genannten Veröffentlichung belegt werden soll oder die aus einem anderen besonderen Grund angegeben ist (wie ausgeführt) *O* Veröffentlichung, die sich auf eine mündliche Offenbarung, eine Benutzung, eine Ausstellung oder andere Maßnahmen bezieht *P* Veröffentlichung, die vor dem internationalen Anmeldedatum, aber nach dem beanspruchten Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist *T* Spätere Veröffentlichung, die nach dem internationalen Anmeldedatum oder dem Prioritätsdatum veröffentlicht worden ist und mit der Anmeldung nicht kollidiert, sondern nur zum Verständnis des der Erfindung zugrundeliegenden Prinzips oder der ihr zugrundeliegenden Theorie angegeben ist *X* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung, die beanspruchte Erfindung kann allein aufgrund dieser Veröffentlichung nicht als neu oder auf erfindungsmäßiger Tätigkeit beruhend betrachtet werden *Y* Veröffentlichung von besonderer Bedeutung, die beanspruchte Erfindung kann nicht als auf erfindungsmäßiger Tätigkeit beruhend betrachtet werden, wenn die Veröffentlichung mit einer oder mehreren anderen Veröffentlichungen dieser Kategorie in Verbindung gebracht wird und diese Verbindung für einen Fachmann naheliegend ist *S* Veröffentlichung, die Mitglied derselben Patentfamilie ist		
Datum des Abschlusses der internationalen Recherche 12. November 2002		Absendedatum des internationalen Recherchenberichts 20/11/2002
Name und Postanschrift der internationalen Recherchenbehörde Europäisches Patentamt, P.B. 5518 Patentlaan 2, NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl, Fax (+31-70) 340-3016		Bevollmächtigter Beauftragter Cuny, J-M

Formblatt PCT/ISA/210 (Batt. 2) (Juli 1992)

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT

Internationales Aktenzeichen
PCT/EP 02/08980

C.(Fortsetzung) ALS WESENTLICH ANGESEHENE UNTERLAGEN

Kategorie ¹⁾	Bezeichnung der Veröffentlichung, soweit erforderlich unter Angabe der in Betracht kommenden Teile	Beitr. Anspruch Nr.
A	DE 44 15 732 A (GEBR. HAPPICH GMBH). 9. November 1995 (1995-11-09) Zusammenfassung; Abbildungen 1,3	1,2

1

Formblatt PCT/ISA210 (Fortsetzung von Blatt 2) (Juli 1992)

INTERNATIONALER RECHERCHENBERICHT				Internationales Aktenzeichen PCT/EP 02/08980	
Im Recherchenbericht angeführtes Patentdokument		Datum der Veröffentlichung	Mitglied(er) der Patentfamilie		Datum der Veröffentlichung
DE 19727925	A	07-01-1999	DE 19727925 A1		07-01-1999
DE 19519602	C	19-09-1996	DE 19519602 C1		19-09-1996
			FR 2734768 A1		06-12-1996
			GB 2301280 A , B		04-12-1996
			IT RM960262 A1		22-10-1997
US 6059243	A	09-05-2000	JP 10226260 A		25-08-1998
DE 4415732	A	09-11-1995	DE 4415732 A1		09-11-1995

フロントページの続き

(74)代理人 230100044

弁護士 ラインハルト・アインゼル

(72)発明者 ファルク シャール

ドイツ連邦共和国 アルピルスバッハ オーベラー ズルツベルク 7

Fターム(参考) 3B088 LA02 LB01 LB05 LB06